

# かいほ ジャーナル



愛します! 守ります! 日本の海

Vol. **70**

2017 SPRING

特集  
第十一管区海上保安本部 宮古島海上保安部  
規制能力強化型巡視船『しもじ』  
宮古島海上保安部に配属



# かいほ ジャーナル

C O N T E N T S



Vol. **70**  
2017 SPRING

## PHOTO GRAVURE

- 1 海上保安体制強化に関する方針を決定
- 1 勢力を先制集中 ～迅速な救助活動により乗組員全員を無事救助～
- 2 東京湾海上交通センター発足40周年記念式典を挙行
- 2 我が国が提案した海底地形名、国際会議が承認
- 3 解役巡視船のマレーシアへの供与  
海上保安庁から外国海上保安機関への初の巡視船供与
- 3 更なる現場力の向上  
～警備救難競技全国大会を5年ぶりに開催～

## [特集]

- 4 第十一管区海上保安本部 宮古島海上保安部  
**規制能力強化型巡視船『しもじ』  
宮古島海上保安部に配属**

## TOPICS

- 10 **宮古島 エトセトラ** ～特集では伝えきれなかった宮古島をここで～
- 12 **NEWSFLASH** ニュースフラッシュ

裏表紙

## INFORMATION

海上保安大学校・海上保安学校学生募集中！  
第三管区巡視船艇・航空機展示総合訓練の一般公募



# 海上保安体制強化に関する 方針を決定



平成28年12月21日、内閣総理大臣官邸において「海上保安体制強化に関する関係閣僚会議」が開催され、「海上保安体制強化に関する方針」が決定されました。

本方針は、我が国周辺海域を取り巻く現下の情勢を踏まえ、海上保安体制の強化を図ることが重要となっているところ、その方向性を示すために策定されたものです。

安倍内閣総理大臣は会議において、「海上保安官の仕事は厳しく、命がけの仕事である」「海上保安庁は、海の警察、消防であり、我が国の平和で豊かな海と国民の生命と財産を護り、安全・安心を確保するために、その体制に、一寸の隙も許されない」「今後、本方針に従って、継続的に海上保安体制の強化を図り、我が国の平和で豊かな海をしっかりと守っていく」と述べました。



2月11日、台湾から韓国向け航行中のパナマ籍タンカー「SAGAN」が、エンジントラブルのため鹿児島県諏訪之瀬島沖合を漂流し、その後、諏訪之瀬島南西岸に乗揚げ、油が流出する事故が発生しました。

海上保安庁では、直ちに巡視船艇・航空機を発動し、時折、船橋まで波しぶきが降りかかる荒天下、特殊救難隊及び機動救難士により乗組員18名全員を無事救助するとともに、関係者との連絡会議の開催や機動防除隊による船舶所有者への指導・助言、油防除措置などを行い、油による海洋環境への影響の極小化を図りました。

# 勢力を先制集中 迅速な救助活動により乗組員全員を無事救助



東京湾海上交通センター発足  
40周年記念式典を挙行



根本国土交通大臣政務官祝辞

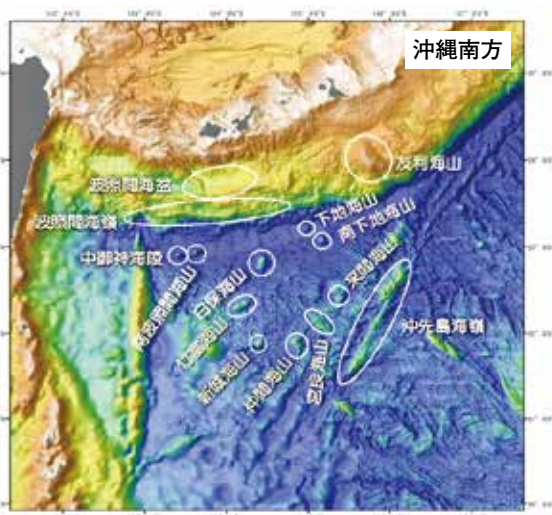
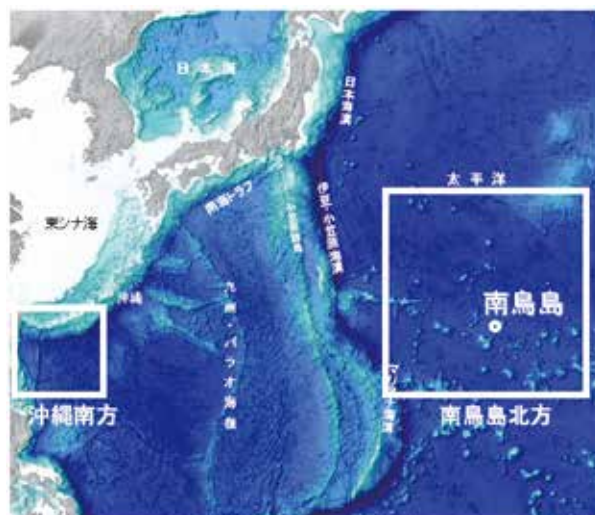
東京湾海上交通センター

2月15日、東京湾海上交通センター発足40周年記念式典を行いました。

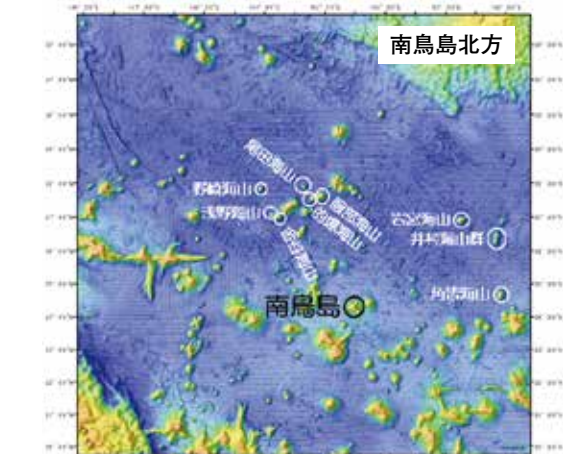
東京湾海上交通センター（神奈川県横須賀市所在）は、全国に7箇所ある海上交通センターのうち、昭和52年2月に日本で初めて設置され、航行船舶の動静を把握し、船舶の安全な航行に必要な情報の提供や大型船舶の航路入航間隔の調整を行うとともに、巡視船艇との連携により不適切な航行をする船舶への指導等の業務を実施しています。

式典は、当庁から秋本海上保安監ら出席し、根本国土交通大臣政務官を始めフランス・ザカリア国際航路標識協会事務局長など多くの来賓の出席を賜りました。根本大臣政務官は祝辞において、「東京湾における海上交通の安全性の向上及び国際競争力の強化に一層寄与するよう、期待いたします。」と職員を激励されました。

平成30年1月からは、東京湾海上交通センターと湾内4つの港内交通管制室を一つに統合し、神奈川県横浜市にて新たな東京湾海上交通センターとして、引き続き東京湾における船舶交通の安全の一翼を担うこととなります。



我が国が提案した海底地形名、  
国際会議が承認



国際水路機関（IHO）とユネスコ政府間海洋学委員会（IOC）の傘下であり、世界の海底地形名を公式に定める「海底地形名小委員会」（SCUFN）が平成28年9月アメリカ（ボルダー）で開催され、各国から提案された海底地形名のうち81件に名称が付与されました。我が国が提案した海底地形名は23件あり、その全てが承認されています。このうち「野崎海山」、「浅野海山」、「金谷海山」、「尾田海山」、「的場海山」、「服部海山」、「角皆海山」、「岩宮海山」、「井村海山群」の9件は、海洋調査に貢献する等の功績のあった海洋化学、微化石学等の研究者、海洋調査船の船長などに因んだものです。



解役巡視船のマレーシアへの供与  
海上保安庁から外国海上保安機関への初の巡視船供与



左：海上保安庁巡視船船長 右：マレーシア海上法令執行庁巡視船船長



解役前の巡視船



改修後の巡視船

平成29年1月24日に解役した、釧路海上保安部巡視船「えりも」及び境海上保安部巡視船「おき」が、マレーシア政府の要請を受けて、マレーシアの海上法執行機関であるマレーシア海上法令執行庁(MMEA)に供与されました。

マレーシアは、マラッカ・シンガポール海峡を始めとする海上交通の要衝に位置しており、同国の経済・貿易活動は海上交通に多くを依存していることから、海上の安全確保は、同国の経済及び社会的安定並びに国民生活の更なる発展に不可欠であるとともに、マレーシア周辺諸国のほか、国際海運に大きく依存する我が国にとっても非常に重要な地域となっています。

海上保安庁はこれまでもマレーシアの海上保安能力強化のための人材育成等の協力を行ってきました。今回の巡視船供与がMMEAの能力向上の一助となることに加え、本供与を契機に、両海上保安機関の連携・協力が益々発展することが期待されます。

更なる現場力の向上  
警備救難競技全国大会を5年ぶりに開催



平成28年12月14日、横浜海上防災基地において警備救難競技全国大会を開催しました。今大会では、海上保安業務の中核をなす警備救難業務を的確に遂行するため、その基礎となる「制圧」、「けん銃」及び「人命救助」の競技種目を実施しました。当日は、全国の管区海上保安本部から選抜された代表選手のほか、海上保安大学校、海上保安学校から選抜された精鋭が、それぞれの誇りと威信をかけ、日頃の業務や訓練で培った技術や能力を競いました。本大会を通じ、個々の海上保安官の能力向上及び士気の高揚、そして更なる現場力の向上を図ることができました。





## 第十一管区海上保安本部 宮古島海上保安部

# 規制能力強化型巡視船『しもじ』

# 宮古島海上保安部に配属

EEZや領海における不審な外国漁船に対応すべく開発された新P S型巡視船  
その一番船となる「しもじ」が宮古島海上保安部に配属された

高い規制能力を備える巡視船の活躍に、大きな期待が寄せられている

取材・文／中島敦（オンサイト）



巡視船基地となる伊良部島・長山港には現在、船艇用品庫が建設中だ。



沖縄本島から南西に290 kmほど、太平洋と東シナ海に挟まれた美しい島、それが宮古島だ。宮古島市平良港に拠を構える宮古島海上保安部は、昨年10月1日に保安署から保安部へと昇格した。第十一管区海上保安本部では石垣、中城、那覇に続いて4番目の保安部となり、人員・巡視船共に強化が図られている。

背景にあるのは尖閣諸島周辺海域の領海内に侵入する中国公船や活動する外国漁船の増加だ。2012年9月以降、この海域への中国公船の領海侵入が大幅に増加。このため尖閣領海警備専従体制として、石垣海上保安部にP L型巡視船を配属し中国公船への対応を行い、一方の外国漁船については小回りが効き迅速に対応できるP S型巡視船を宮古島海上保安部に配属することになったのだ。

その第一番船が巡視船「しもじ」だ。規制能力強化型巡視船（新P S型）として高い規制能力を有するこの巡視船は、接舷による船体の損傷を防ぐための防舷物が両舷を覆っている。また、船橋から遠隔操作できる放水銃や、警告等の意思を正確に伝えるための表示装置、船体の周囲360度をカバーするカメラ（探証装置）等を装備しており、不審な外国漁船を規制することを想定して設計されていることが分かる。

「この『しもじ』を筆頭に今年3月までにさらに2隻、来年度さらに3隻、再来年度さらに3隻と、合計で9隻の新P S型巡視船が配備されます」と説明するのは、宮古島海上保安部の初代部長に就任した



昨年11月に配属された新PS型巡視船「しもし」。不審な外国漁船に対応すべく規制能力が強化されている。



宮古島海上保安部を統括する久留利彦部長。壁には海上保安庁の精神「正義仁愛」の額が掛かる。この額は保安部職員有志により購入したもので、背面には全員の名が記されている。

久留利彦部長だ。新PS型巡視船計9隻が配属されると、既存の3隻（巡視船「みやこ」、巡視船「のぼる」、巡視艇「なつづき」と合わせて12隻となる。それに伴い人員も陸上・船艇合わせて200名以上に増員される予定だ。

「ひとつの保安部に12隻というのはかなり大規模だと思いますが、元々保安署で陸上職員も数名のみ、船も3隻しかないところで頻繁に尖閣にも対応していましたが、従来の3隻は通常の業務に専念することができませんし、警備救難課もできませんでした。」と久留利部長。

この新PS型巡視船は、外国漁船に対して退去警告等の措置を講じることが目的としている。「領海内を航行する外国漁船に対しては、違法操業することがないよう、監視警戒にあたっています。しっかりと相手の動きを見て対応するた



### 停船命令等表示装置

相手船へのメッセージを表示することで、こちらの意思を明確に伝えることができる。もちろん相手船に合わせて言語を切り替える。



## 規制能力強化型巡視船 「しもじ」

長さ：43.0メートル 幅：7.8メートル  
総トン数：200トン



### ジョイスティック

新PS型巡視船の大きな特徴のひとつがこのジョイスティック。接舷の際、これ1本で操船することで迅速に相手船を規制できる。



### 防舷物

前方から後方まで、両舷を保護する防舷物。他船に接舷する際に船体が受けるダメージを抑制する。船体と同じ白色、JAPAN COAST GUARDの文字も記載されており、遠目には通常の船体と変わらないように見える。

め、現場を扱う立場としてはそれを迅速かつ的確に対応すべく研修や訓練を実施しています」

### 規制能力強化型巡視船の特徴

「しもじ」を例に、規制能力強化型巡視船の特徴を見ていこう。

まずは船体側面に設置された停船命令等表示装置。相手船に対してメッセージを表示することで、明確にこちらの意図を伝えることができる。

もつとも目を引くのは両舷に装着される防舷物の存在だ。これはもちろん、他船に接舷する際の船体のダメージを抑制するためのものだ。また、船体の周囲360度をカバーするカメラが設置されており、船橋内で周囲の動きを監視・記録できる。遠隔放水銃は船橋内でコントロールでき、相手船の動きを規制する。こうして見ていくとこの新PS型巡視船が、文字通り相手船の規制に特化して開発されていることが分かるだろう。

この、まさに現場で外国漁船と対峙するために開発された新PS型巡視船を任される大山洋船長は「4月以降には3隻体制になります。一番船の船長に選ばれたことを誇りに思いますし、期待に応えていきたいと思っています」と新たな任務に気を引き締めている。

「乗組員を移乗させるに際して、相手側の抵抗も考える必要があります、細心の注意を払って行わなければなりません。若い頃、PSから外国の漁船に移乗したことがあります、やはり移乗となると皆緊





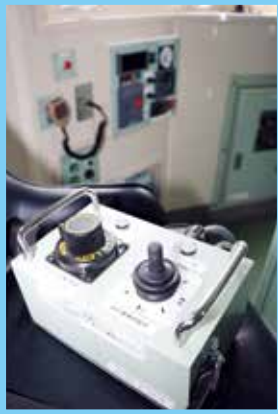
### 見通しの良い船橋

船橋内は従来型と比べて内部がすっきりとし見通しが良くなった。前後左右に死角を作らないための設計だ。



### 遠隔放水銃

相手船の動きを規制するための放水銃は、船橋内からリモートコントロール可能。コントローラーを使えば船橋内で移動できるため、より確実に相手の動きを確認しながら操作できる。



張します。特に移乗する瞬間には総合的な判断を要するため、多くの事柄に気を配らなければなりません」  
また、外国船と直接対峙するために国際捜査官へのニーズも高まっている。相手は何を言っているのか、何を伝えようとしているのかを明確に理解しないことには、誤った対応をすることにつながる恐れがある。正確な意思疎通、コミュニケーションを行うにあたり、国際捜査官の存在を欠かすことはできない。

### 増加する外国からのクルーズ船

尖閣諸島以外での宮古島海上保安部を取り巻く環境としては、外国船クルーズの増加が挙げられる。宮古島海上保安部のある平良港も、大型船の寄港に対応すべく大規模整備が進められている。

また外国船の増加に伴い懸念されるのが密輸等への警戒だ。幸いこれまで宮古島では大きな事案は発生していないが、那覇や石垣では発生していることから、宮古島でも警戒の手を緩めず水際の対策が求められている。

そして離島の生活を守ること。2015年1月に完成した伊良部大橋をはじめ、池間大橋、来間大橋によって4島は地続きとなっている。だが、それ以外の島への対応はもちろんのこと、場合によっては橋が使えない事態も想定しておく必要がある。人災・天災問わず、急患搬送など地域消防や警察との連携は欠かせない。そんな中、ひとつの構想が動き出している。航空自衛隊、警察、消防、そして





一番船として配属された巡視船「しもじ」とその職員。外国漁船と直接対峙し、日本の海の安全と安心を守る。



海上保安部による在官公庁交流だ。「日頃の訓練はもろろんのこと、駅伝などの競技を通じて交流することで、同じ島の安全安心を守っている者同士、意識を共有できますし、日々の刺激にもなります」と久留部長。

また、現在宮古島海上保安部では20代職員が48パーセントとほぼ半数を占めているが、増員に合わせてその比率がさらに高まることもあるだろう。大増員に向け、職員の教育は常に意識しておかなければならない課題だが、久留部長は常々、職員に「法令の遵守と責任の全う」を説き、「部下や後輩を育てる」ことを指導している。「部長は次長を、次長は課長を、課長は係長を育てなければなりません。入ったばかりの新人ですら数カ月後には保

安学校を卒業した後輩が入ってくるわけですから、常に備えておかなければなりません。人を育てるとするのは自分を育てること。上に立つ者ほど人の何倍も勉強も努力もしなくてはなりませんし、だからこそ人を指導できる。それを忘れては部下は育ちません」

観光客が増え、港の整備が進み、大きく変わりつつある宮古島。船が増え、人が増える中で、宮古島海上保安部職員は一丸となって海の安全を守っていく。

(上)美しい海に囲まれた宮古島は当然マリネジャーも盛ん。一方で整備されていない砂浜も多いため、定期的に事故防止啓発活動を実施。  
(中)年々増加する外国からのクルーズ船に対しては訪船指導を実施。  
(下)宮古島消防と合同で潜水訓練を実施。技術の研鑽に努めている。



# MESSAGE from MIYAKOJIMA

## 宮古島の海を守る海上保安官

### 「成長する自分を実感できる仕事です」

巡視船「しもじ」通信士補 <sup>いれい えいご</sup>伊禮 永冨 (22歳)

この3月で着任して2年になりました。1年目と比べれば作業には慣れつつありますが、経験的にはまだまだと思っています。操船もそうですし、通信科の仕事としてパソコン関係などを任されていますが、学校で学んだことと実際の現場が異なることはしばしばあります。少しずつ理解が深まるにつれて仕事も面白くなってきましたし、自分でも成長していると感じられるようになってきたところです。



海上保安庁というと映画『海猿』のイメージがありますし、自分もそうでしたが、実際は事務作業が多いです。出勤は巡視船ですが、この部分は陸上とあまり変わらないところです。それだけに、いつもの事務作業と異なる業務は楽しみです。自分は制圧術が好きなので、特に制圧訓練。徒手対徒手であったり、相手が武器を持っている想定もあります。長物を使うのであれば剣道をやっている人が強いし、徒手なら柔道や空手をやっている人など、何を得意としているのかによって戦い方が変わります。ちなみに私は警棒を得意としています。

意識していることは、海上保安官として何かこれだけは得意なものを持つこと。まだ得意なものを持っているとは言えませんが、これだけは負けない何かを持つことができれば、どのような職場でも強みになると思います。

### 「人手不足の主計を敢えて選びました」

巡視船「しもじ」主計士補 <sup>きんじょう りょうすけ</sup>金城 亮介 (24歳)

海上保安官の仕事の中でも、主計は裏方のイメージが強いと思いますが、私が採用された時は大量採用の真っ最中でしたが、その時も主計だけ数が増えなかったんです。他の科はどんどん人が増えるのに主計だけ増えないということは、仕事がどんどん増えるということ。実際に業務が大変になっていると聞いていたので、「ならば敢えてそこへ！」と主計を選びました。



まだまだ私が皆さんを支えているというほどではありませんが、それでも疲れた皆さんに食事を出して、そこで「おいしい」と言ってもらえるのはとても嬉しいし、やりがいを感じます。例えばですが、操船していても毎回毎回、「今の舵の切り方、良かったね」なんて言われないじゃないですか。食事を出せば、だいたい何らかの声は返ってきますから(笑)

船の上ではテレビも電波が入らなかつたり携帯も圏外だったり。食事は娯楽でもありますから、飽きさせないように工夫しています。そしてメニューを読まれないこと。どんなメニューが想像するのは楽しいかもしれませんが、それが読めなくなるとがっかりする方もいるのではと思います。

船の上で実際に事案が発生したときには、科に関係なく対応します。ただその中でも主計に関しては重要な裏方作業もあります。将来的には鑑識官や国際捜査官など、何か特技を持った海上保安官になりたいと考えています。

### 「日本の海を守っているという責任を感じます」

巡視船「しもじ」機関士補 <sup>さきはま しょうた</sup>崎浜 翔太 (27歳)

職業を選ぶ際、元々人助けをしたいという思いがあって海上保安官を選びました。警察と消防、そのどちらもできる幅広い職場というのが決め手です。



その人助けという点ではまず救助になりますが、着任してすぐに急患搬送の現場に出ることができました。当時私はヘリコプター搭載船に乗っていたのですが、まず船で救助して、陸上に届く距離まで来たところでヘリコプターに乗せ換えました。その方を無事に助けることができ、自分の中ではそれがいちばん最初の実働だと考えています。

実際に現場に行くとき色々なことが起こり、そのときそのときドラマのようなこともあります。それに対応することがこの仕事の醍醐味でもありますし、日本の海を守っているという責任も感じるようになりました。今後は警備救難業務に主軸を置いていきたいと思いますが、海上保安官は幅広い業務に携わっているので、他の業務もできるように、どこかの部署に行っても仕事ができる人間になりたいと思っています。

今、この「しもじ」に求められていることは、事案発生時に必要とあれば相手船を規制することです。そのためにも日々訓練し身体を鍛えなければなりませんし、その上で法執行能力が鍵になるでしょう。警備救難の道を進むには、法執行を適切に実行できるようにならなければと勉強の日々です。

### 「国際捜査官として、“熱い現場”で働きたい」

巡視船「しもじ」航海士補 国際捜査官 <sup>どうやま しんいち</sup>當山 晋一 (28歳)

これまで印象に残っている一番大きな事案は尖閣諸島での中国漁船公務執行妨害等被疑事件です。入庁して1年も経っていない時の出来事でしたので、最初は事の重大さが分かりませんでした。経験を増やすことにより今では自分はとても特殊な場所働いているんだと実感しています。



国際捜査官として意識しているのは、いかに相手の声を聞き取るか、話を聞き出すかということです。石垣島近辺で台湾船が沈没して捜索に行ったとき、相手は死ぬかもしれないという恐怖感からしきりに訴えてくるのですが、焦って話してくるのでうまく聞き取れなかったことがあります。こちらも怪我人はいないか、他にクルーはいないのかなど確認したかったのですが、あの時は苦勞しました。サンゴ漁船を捕まえたときに相手の地方訛りが強くて会話できないこともありました。筆談しようにも、相手は読み書きができませんでした。また、捜査の現場では相手が話しやすい環境を作ることも大切です。「あ、この人はちゃんと自分の話を聞いてくれるんだな」という雰囲気を作らないと聞き出せる話も聞き出せません。そこは自分の役割だと意識しています。





# 宮古島 エトセトラ

特集では伝えきれなかった宮古島をここで

●画像提供／一般社団法人 宮古島観光協会

## 伊良部大橋・池間大橋・来間大橋



**宮**古島と周辺の3つの島（伊良部島、池間島、来間島）の間には橋が架けられ、車で行き来できるようになっている。最も新しいのは2015年1月に完成した伊良部大橋（写真・左）で、無料で通行できる橋としては国内最長の全長3.540mという長さ。池間大橋（写真・右）は全長1,425m、舞浜ビーチからも眺めることができる来間大橋（写真・中）は全長1,690m。どの橋も美しい海を見渡す最高のロケーションであり、交通の要であると同時に観光スポットとなっている。

**プ**ロ野球のシーズンオフキャンプ地としても有名な宮古島は、著名なスポーツ大会開催地でもある。中でも有名なのは今宮古島トライアスロン（全日本トライアスロン宮古島大会）で、今年4月23日に、第33回大会として開催される。美しい前浜ビーチでのスイムでスタートし、バイク（自転車）で宮古島を1周するというロケーションで、最大1700名もの参加者を集める。他にもビーチバレー宮古島大会や、自転車のツール・ド・宮古島などが開催され、多くの人々が宮古島を訪れている。



## 宮古島トライアスロン



## 前浜ビーチ



**た**くさんの美しいビーチに恵まれた宮古島ですが、中でも「東洋一美しい」と人気を集めるのが島の南西部にある前浜ビーチです。青い海と真っ白い砂浜の美しさは絶品。対面には来間島を望み、来間大橋からもビーチを一望することができます。



宮古そば・うず巻きパン・宮古味噌



**宮**古島グルメとしてまず挙げたいのが宮古そば。沖縄そばと比べると麺が少し細めですが、一番の特徴は具が麺の下に隠れていること（最近では麺の上に具を載せる店が多くなっています）。食べていくと麺の下から、三枚肉やかまぼこなどの具が顔を見せます。宮古味噌は、こうじに麦を使った赤味噌で、様々な料理に使われています。そして渦巻きパン。こちらは伊良部島が発祥ですが、宮古島内各地で見かける定番です。ふんわり柔らかいパン生地にたっぷりのバタークリーム。砂糖粒のザラっとした食感も嬉しい、宮古島ならではのB級グルメです。



フナウサギバナタ



**伊**良部島北部、海に面した岸壁に立つフナウサギバナタ（上・左）。なんとも不思議な響の言葉ですが、フナウサギバナタとは「船を見送る崖」という意味で、その昔、旅立つ人の無事を祈りながら見送った場所とされています。宮古島海中公園（上・右）はアクリルパネル越しにそのまま自然の海中を眺めることができる海中公園。熱帯魚やタコ、ウミヘビ等、様々な海の生き物を観察できます。来間島にある竜宮城展望台（左）は、竜宮城をイメージした3階建ての展望台で、目の前に前浜ビーチが広がり、伊良部島や来間大橋なども一望できます。

宮古島まもる君

宮古島をドライブすると、あちこちで目に入るのがこの宮古島まもる君。宮古島と多良間島、伊良部島に計19体が設置されており、安全運転の啓蒙に活用されている。見た目は少々不気味だが、『宮古島まもる君 パーフェクトガイド』が発行され、『宮古まもる君のうた』が発売されるなど実は人気者。身長は180cm、一体一体、微妙に顔（表情）が異なっている。



島尻のマングローブ・川満のマングローブ



**島**の北東部、奥行き約1kmの入り江（バタラス）に広がる島尻のマングローブ林は、宮古諸島でも最大規模のマングローブの群生です。2009年に島尻橋（スマジィーバス）と遊歩道が完成し、手軽に観光できるようになりました。また島の西側、与那覇湾に面する川満のマングローブにも木製の遊歩道や展望デッキが整備されています。



東平安名崎

**宮**古島の南東端にある東平安名崎（ひがしへんなざき）は太平洋と東シナ海を一望できる雄大な景色で日本の都市公園100選にも選ばれています。幅最大160m、高さは約20mの隆起珊瑚礁の石灰岩による美しい岬は約2kmにも及び、周囲を取り囲むような眺めを楽しむことができます。沖縄地方では東のことを「あがり」と呼ぶので、「あがりへんなざき」とも呼ばれます。





第五管区

神戸保安部  
JICA研修の二環で、フィリピン  
コーストガード研修生に対し  
巡視艇はるなみの業務説明

1月27日



第一管区

紋別保安部  
雪像コンテストに参加。  
うみまるがピコ太郎に!

2月5日



第六管区

尾道保安部  
消防等関係機関と連携強化。  
旅客船事故対応訓練実施

1月27日



第二管区

秋田保安部  
「118番を知っていますか？」  
認知度調査実施

1月18日



第七管区

佐世保保安部  
船飯レシビをHPに掲載開始!

1月



第三管区

湘南保安部  
第七回湘南藤沢市民マラソンに  
巡視艇うみかぜ出港

1月22日



第八管区

宮島保安部  
霧に消えた天橋立

1月28日



第四管区

尾道保安部  
小学生が業務体験を行う尾鷲市  
「いきいき尾鷲っ子」で三木埼灯台見学

1月28日





学校

海上保安学校  
舞鶴市成人式にて力強く決意表明！  
1月8日



第十一管区

那覇航空基地  
雲海に浮かぶ初日の出  
1月1日



学校

門司分校  
船舶職員等初任者課程  
第76期の入校式を挙行  
1月11日



大学校

海上保安大学校  
英語プレゼン・  
パフォーマンス大会に参加  
7月20日

# 海上保安庁音楽隊の演奏活動



## 海上保安庁音楽隊・沖縄県警察音楽隊 ジョイント・ホリデーコンサート

1月22日、イオンモール沖縄ライカムにおいて、沖縄県警察音楽隊と初めてのジョイントコンサートを開催。地元タレントのアイモコさんも共演。



海保単独演奏（118番周知）



県警単独演奏



両音楽隊による合同演奏

## 海上保安庁音楽隊 ウインターコンサート

2月16日、渋谷駅構内において、東京メトロ主催のウインターコンサートに出演。映画「君の名は」主題歌など10曲を約700人の前で演奏。



テナーサクソソロ



立奏によるアンコール演奏



## 海上保安大学校・海上保安学校学生募集中！

海上保安庁では、当庁の職員の養成機関である海上保安大学校及び海上保安学校の学生を募集しています。試験は、高等学校等卒業者を対象に行われます。試験の日程については、下記のとおりです。詳しくは、最寄りの海上保安本部または海上保安庁総務部教育訓練管理官付学校教育係までお気軽にお問い合わせください。



海上保安大学校（平成30年4月採用）

受付期間	平成29年8月24日（木）～9月4日（月）
第1次試験	平成29年10月28日（土）、10月29日（日）
ホームページ	<a href="http://www.jcga.ac.jp/">http://www.jcga.ac.jp/</a>



学生採用試験  
ホームページ



海上保安学校（平成30年4月採用）

受付期間	平成29年7月18日（火）～7月27日（木）
第1次試験	平成29年9月24日（日） 平成30年度から、新たに「管制課程」の試験区分が設置されます。
ホームページ	<a href="http://www.kaiho.mlit.go.jp/school/">http://www.kaiho.mlit.go.jp/school/</a>

海上保安学校（特別）（平成29年10月採用）

受付期間	平成29年3月31日（金）～4月7日（金）
第1次試験	平成29年5月14日（日）
ホームページ	<a href="http://www.kaiho.mlit.go.jp/school/">http://www.kaiho.mlit.go.jp/school/</a>

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/ope/siken.html>

## 第三管区巡視船艇・航空機展示総合訓練の一般公募

2000人をご招待！

### ■実施日

平成29年  
5月20日（土）、21日（日）

※悪天候などで中止になる場合があります。

### ■実施場所

東京湾・羽田沖海域  
（乗下船場所／東京都中央区晴海ふ頭）

### 応募に関する注意事項

- ①応募は1通につき2名まで可能です。（お一人様1通限り）
- ②応募者多数の場合は抽選とし、抽選結果は、代表者様への乗船券の発送をもって発表に代えさせていただきます。
- ③安全面を考慮し、乗船者は小学生以上とさせていただきます。ただし、小学生は保護者の同伴がなければ乗船できません。また、次の方の乗船はご遠慮いただく場合がございます。
  - 妊娠中の方 ●健康に不安のある方 ●介護者の同伴が必要な方
  - 歩行に際し補助具等が必要な方 ●車椅子等をご利用の方

事前に海上保安庁総務部政務課政策評価広報室 展示総合訓練係  
（☎03-3591-6361（内線2211、2221）までご連絡ください。  
なお、事前にご連絡をいただいても、ご希望に添いかねる場合がございます。

### ■応募方法

普通はがき、インターネットのいずれかでお申込み下さい。

### ■はがき応募 **※切：4月5日（水）当日消印有効**

普通はがきに以下の要領でお申込みください。  
※往復はがきではありません。

表面	裏面
東京都千代田区 霞が関二の三 海上保安庁総務部 政策評価・広報室 展示総合訓練係 行	乗船希望日 20日 又は 21日 代表者の郵便番号・住所 代表者の氏名・年齢 同伴者の氏名・年齢

### ■インターネット応募 **※切：4月5日（水）午後6時**

海上保安庁ホームページよりご応募ください。  
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/>

※ご記入いただきました個人情報は、展示総合訓練一般応募の事務のみに使用いたします。  
【乗船券】は転売・譲渡禁止です。当選されたご本人及び同伴者のみ乗船可能です。